

(様式2)

平成 23 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1570201911 | | |
| 法人名 | ながおか医療生活協同組合 | | |
| 事業所名 | グループホームにここ | | |
| 所在地 | 新潟県長岡市前田1-10-3 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年8月17日 | 評価結果市町村受理日 | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.n-kouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1570201911&SCD=320 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人ウェルフェアー普及協会 | | |
| 所在地 | 新潟県三条市東三条1-6-14 (調査事務局:新潟県三条市高岡155) | | |
| 訪問調査日 | 平成23年10月7日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体診療所医師や看護師と健康管理や医療面での相談や支援体制が確保されている。地域の中で何が出来るのか考え実践し、利用者個々の残された力を引き出すことで自信の回復へとつなげ、生きがいを持って、今を生きることを支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成17年、多様な介護事業を展開している医療生活共同組合が開所している。近隣に同生協組合診療所や介護サービス事業所があり、診療所医師が理事長・副理事長であることから、医療・リハビリ・健康面の連携体制が構築されている。利用者はトランプ・風船バレー・作品制作等、居室に戻ることがほとんどなくフロアで思い思いに過ごしている。利用者のペースが保たれ、時間の流れがとてもゆったりしている。職員は、朝・夕の申し送りを行い「報告・連絡・相談」を徹底させることで、利用者一人ひとりの状態を把握しケアに反映させている。今以上にレクリエーションの時間を増やし、利用者との関わりを密にして、笑顔を引き出したいと取り組んでいる。今年に入り2度あった水害で、多くの貴重な経験をして地域とのつながりの重要性を再認識し、運営推進会議等で積極的に関わりを持ち、災害対策を議論したり、協力関係を構築することが出来た。また、ホーム行事を開催し地域の方が参加してくれるようになり、地域とのつながりを深めている。「これでいい」はなく、常に疑問を持ち、全職員で一生懸命取り組んでいるホームである。